



光る風



【学校教育目標】 やさしく かしく いきいきと

【目指す児童像】 自分も仲間も大切に、あたたかく認め合える児童

水谷東小学校HP

地震からいのちをまもるために ～自分のいのちは自分で守る～

きのう、東北や北海道を中心に大きな地震がありました。

この学校でも、少しゆれを感じました。校庭で遊んでいた人たちには、先生たちがすぐに声をかけました。

17日（金）に、地震を想定したひなんくんれんを行ったばかりです。そのくんれんは、ただの練習ではありません。

本当に地震がおきたときに、みなさん一人一人が自分のいのちを守ることができるようになるための、大切な学びでした。

ひなんくんれんで、一番伝えたかったことは、「自分のいのちは、自分で守る」ということです。

地震は、授業中だけに起きるとは限りません。休み時間、登下校中、家にいるときなど、先生や大人がそばにいないときにも起こります。そんなときに大切なのは、「今、どうすればいのちを守れるのか」を自分で考えて行動することです。

たとえば、「頭を守る」「あわてて走らない」「まわりをよく見て、安全な場所に身をよせる」など、の一つ一つの行動が、みなさんのいのちを守ります。

国や市のホームページには、地震が起きたときの行動や、ふだんからできるそなえについて、分かりやすく書かれています。でも、いちばん大切なのは、自分の家ではどうするのかを、家族と話し合うことです。

家の中で安全な場所はどこか。外にいたら、どこへにげるのか。家族といっしょにいなかったら、どうやって連絡をとるのか。こうしたことを考えておくことが、「いのちを守る力」になります。

ひなんくんれんは、やって終わりではありません。

今回のくんれんと、きのうの地震をきっかけに、「もしも今、本当に地震が起きたら」をあらためて考えてみましょう。

これからも、一回一回のくんれんを大切に、いのちを守る行動ができる人になりましょう。



総務省消防庁
防災危機管理
e カレッジ



国土交通省
防災学習
ポータルサイト



富士見市役所
防災情報

このたよりは、おうちの方にもお渡しして読んでいただいでください